



東アジア文化都市 2020 北九州 実施計画

2020年2月

東アジア文化都市 2020 北九州実行委員会

北九州市は、2018年に国とOECDからSDGs推進のモデル都市に選定されました。工業都市として発展する中で発生した公害を市民と連携して克服した経験は、本市のかけがえのない財産となり、今日の市民力やアジアとの交流、環境国際協力などに繋がっています。

SDGsの達成に向けて取り組むこと。それは、将来にわたって「住みよいまち」を創っていくことにほかなりません。

一方、文化芸術には、人の心を豊かにし、まちを元気にする力があります。人々の創造力を喚起し、地域課題の解決の糸口や可能性を生き生きと示します。また、歌や踊り、工芸や食などの文化は、経済的な発展レベルに関わらず、それぞれの国や地域に豊かに存在し、その振興はSDGsの推進に寄与するものです。

本市は、SDGsの達成による「住みよいまち」を実現するため、文化芸術そのものの向上だけでなく、文化芸術の力を観光や産業にも活かす創造的なまちづくりを進めていきます。この大きな契機とすべく、「東アジア文化都市2020北九州」に取り組めます。

東アジア文化都市 2020 北九州実行委員会
会長 北橋健治

東アジア文化都市とは

「東アジア文化都市」は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指します。

また、東アジア文化都市に選定された都市がその文化的特徴を生かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としています。

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
日本	 横浜市	 新潟市	 奈良市	 京都市	 金沢市	 豊島区	 北九州市
中国	泉州市	青島市	寧波市	長沙市	ハルビン市	西安市	揚州市
韓国	光州広域市	清州市	済州特別自治道	大邱広域市	釜山広域市	仁川広域市	順天市

中国・韓国 開催都市紹介

東アジア文化都市は日本・中国・韓国からそれぞれ開催都市が決定され、3都市で文化交流事業を実施していきます。2020年の中国・韓国の開催都市をご紹介します。

揚州(ヨウシュウ)市【中国】 人口: 460万人 面積: 6,634 km²

揚州市は江蘇省中部、長江と京杭大運河(けいこうだいうんが)が交わるところに位置します。6000年の文明の歴史と、2500年以上の城塞建設の歴史があり、その歴史的価値の高さを評価され、中国國務院から国内で最初に国家歴史文化名城に指定されたほか、国連ハビタット(国際連合人間居住計画)都市、優秀観光都市でもあります。

◆中国唯一の「運河都市」

2500年前、呉の国の王である夫差(ふさ)が揚州を起点に京杭大運河(けいこうだいうんが)の建設を始めて以来、揚州は運河と共に成長してきました。現在、船に乗って運河の水上観光をすることができ、沿岸の揚州城南門遺跡や康山園(こうざんえん)、蘆(ろ)氏塩商人住宅、呉氏住宅(呉兄弟記念館)、東関の渡し場跡などの歴史文化遺跡が人気スポットとなっています。

中国には「北京で万里の長城を見た後、揚州で運河を見る」という有名なフレーズがあるほど、揚州は国内外の観光客にとって人気の観光地となっています。

◆ガーデンシティ

揚州の代表的な庭園である个園(個園(こえん))は、中国四大名園の一つに挙げられるほど有名な庭園です。また、瘦西湖(そうせいこ)風景名勝地区では毎年「万花会」が開催され、様々な花が競演しており、マルコ・ポーロ・フラワーワールドでは、マルコ・ポーロの旅をイメージして花のアートで歴史と文化を表現しており、「世界最大面積・中国最長の花の絨毯」や「マルコ・ポーロの数奇な旅」を体感することができます。

順天(スンチョン)市【韓国】 人口: 28万人 面積: 910 km²

順天市は、大韓民国の南端の全羅南道東部圏に位置する人口28万人の都市です。文化や観光、教育など様々な分野で高く評価されている都市です。

◆「文化都市」順天

ユネスコ世界文化遺産の仙岩寺(ソナムサ)やユネスコ世界文化遺産暫定リストに登録されている樂安邑城(ナガンウプソン)、松廣寺(ソングァンサ)などの歴史・文化資源だけでなく、様々な種類の文化財を保有する都市です。また、順天湾国際交響楽祭、順天湾世界動物映画祭といった国際文化行事や公演など、街じゅうに文化芸術が花開く都市です。

◆「エコロジー都市」順天

順天市は、ラムサール条約湿地都市に認定されました。また大韓民国第1号国家庭園に指定された順天湾国家庭園や2020年のユネスコ世界自然遺産登録を控えている順天湾湿地があります。市全域が生物圏保存地域に登録され、平和と幸運を象徴するナベヅル1000羽以上が飛来し、国内外において名実共にエコロジー都市の地位を確立している都市です。

開催都市位置図



揚州市 (中国)



宋夾城



東関歴史文化観光エリア

順天市 (韓国)



順天湾国家庭園



順天湾湿地に飛来するナベヅル

開催趣旨

「創造都市・北九州」へ ～東アジアの響きあう交流を未来へ～

文化芸術の持つ創造性を、地域振興や観光・産業振興等に領域横断的に活用し、地域課題の解決に取り組む都市を「創造都市」と呼び、この試みは現在、世界中の多くの都市で、地域との連携のもとに進められています。本市においても、文化振興計画の中で、文化芸術を地域経済、教育、福祉などに生かし、創造的なまちづくりを進めることを謳っています。

北九州市は、歴史的・地理的にアジアの玄関口として発展し、多くの文化人を輩出する他、多様な文化施設の充実や、先進的な文化芸術に取り組むなど、豊富な文化土壌を有しています。また、公害克服の経験等を生かし、アジア諸都市と国際技術協力や都市間交流を積み重ね、行政はもとより市民の草の根交流を育んできました。

「東アジア文化都市 2020 北九州」では、本市を舞台に、東アジアをはじめとする、市民、産業界、多様なアーティストが集い、それぞれの創造性を最大限に引き出しながら交流・協働・融合することで、東アジア域内の相互理解をさらに深めるとともに、新たな価値を生み出し進化させ、平和的発展に貢献することを目指します。同時に、本事業を推進力として「創造都市・北九州」の実現を図っていきます。

事業目標

「参加」による創造都市の実現

芸産学官 + 市民のオール北九州で取り組み、
文化芸術を通じて市民のシビックプライドを醸成します。

「交流」による創造都市の実現

多様な交流を通じて東アジアとの相互理解や新たな価値を生み
アートのかによるインバウンドの促進など文化観光を振興します。

「発信」による創造都市の実現

北九州発の文化芸術を国内外に効果的に発信し国内および国際的な評価を獲得します。

東アジア文化都市 2020 北九州

5つの宣言=DESIGN宣言!

(事業目標の達成に向けて、重点的に取り組む事業の基本方針)

文化芸術を生かしてまちづくりを行う「創造都市・北九州」の実現に向け、東アジア文化都市 2020 北九州に取り組めます。事業の目的の達成に向けて、重点的に取り組む事業の基本方針「5つの宣言=DESIGN宣言」を定めています。

- **D**ISCOVER 宣言 (ディスカバー：発見)
可能性を秘めた北九州の新たな文化芸術を見つけ出す
- **E**DUCATION 宣言 (エデュケーション：教育)
東アジアの文化芸術を学びあい、次世代へつなぐ
- **S**YMPHONY 宣言 (シンフォニー：調和)
東アジアの多様な人々と、文化芸術を通して響きあう
- **I**NNOVATION 宣言 (イノベーション：革新)
芸産学官が手を携え、文化芸術による新たな産業を生み出す
- **G**LOBAL 宣言 (グローバル：世界的)
東アジアの文化芸術を国内外に発信し、インバウンドを呼び込む



総合プロデューサー・ディレクター メッセージ

【総合プロデューサー】

柴田 英杞 / (独)日本芸術文化振興会プログラムディレクター、(公社)全国公立文化施設協会アドバイザー、北九州市顧問



北九州市は、多様性に富んだたくさんの文化資源・地域資源があり、ポテンシャルの高いまちです。この「東アジア文化都市」の事業を市民の皆様と共に推進し、市の魅力を国内外に発信したいと考えています。

コンセプトは「未来と対話」。草の根の文化芸術交流を通じて、今よりも将来に目を向けて、対話を継続していく重要性を説いています。文化芸術があらゆる人々を元気にし、まちを活気づかせ、そのことが社会全体の幸せにつながります。「文化芸術に触れて、北九州市に暮らしてよかった」といった感覚を市民が共有・共感できるプロジェクトにしたいと考えています。

【部門別ディレクター】

藤間 蘭黄／日本舞踊家



撮影：篠山紀信

開幕式典の文化交流公演では、古代から近現代に至る門司を題材に、和布刈神事、源平合戦や江戸時代の風景から近世の港の繁栄まで、唄と踊りで綴ります。文化芸術には国境がなく、言葉の壁も容易に乗り越えることができます。特に東アジアにおいては、その共通性を顕著に見ることが出来ます。2020年は、伝統芸能が持つ面白さ・素晴らしさを、再認識していただく年にしたいと思っております。

南條 史生／キュレーター



世界の人々が未来に向かって共有する重要な指標となるSDGs。このイベントでは、自然やテクノロジーを用いた多様なアートを通してSDGsを表現し、SDGsの先進都市である北九州市の皆さんと持続可能な社会の実現に向けて、世界にメッセージを発信したいと考えています。北九州から日本、そして世界の未来を拓きましょう。

田中 時彦／北九州市漫画ミュージアム館長、童画家、漫画家



北九州市のパワーの源は、先人から培われてきたモノづくりの知恵と魂で、これらが人を育み街を造ってきました。日本有数の工業の街に、今や映画や漫画アニメ、ポップカルチャー等といった多様性に富んだ北九州市ならではのメディア芸術が形成され、新しい息吹が芽生えています。東アジア文化都市はこうした独創的文化的魅力を体感していただく、またとない機会です。是非北九州市の新たなパワーを感じてほしいと思います。

今川 英子／北九州市立文学館長



北九州市は、古くから人・もの・情報が集まり交差する街、さらに工業の街として、その活力が地熱となって様々な文化と人を育ててきました。文学とは人間世界の謎解きです。根っこに共通項を持つ東アジアの文芸文化の交流は、言葉の壁を越えて市民の一人ひとりが心で繋がり、未来へ向けての大きな希望となることでしょう。

オープニング事業

▶和食で語る。「美味しい!」がつくる未来

- ・開催時期：2020年3月21日（土）
- ・会場：リーガロイヤルホテル小倉
- ・概要：ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」をテーマに、東アジアの食文化の類似性と日本の独自性、北九州市の食文化について理解を深めます。また、会場ホテルでシンポジウムとタイアップしたランチなども併せて開催します。

▶Premium Dining KITAKYUSHU

- ・開催時期：2020年3月18日（水）～19日（木）
- ・会場：「みかど食堂 by NARISAWA」（門司港駅2階）
- ・概要：北九州ゆかりの料理人による北九州の食材を使った食のイベント。国内外から食通を集め、本市の食の魅力を発信します。

▶全国俳句大会 in 北九州

- ・開催時期：2020年2月29日（土）～3月1日（日）
- ・会場：北九州国際会議場
- ・概要：北九州市は杉田久女や橋本多佳子など近代俳句の先覚者を育んだ地で、俳句文化の盛んな地域です。吟行や俳句大会を通じて「俳句のまち・北九州」を広く発信します。

▶第16回小倉城桜まつり

- ・開催時期：2020年3月28日（土）～29日（日）
- ・会場：小倉城天守閣前広場
- ・概要：多くの桜が咲き誇る天守閣前広場にて、歌や踊りのステージイベントやふるさとうまいもの市を開催します。

▶東アジア文化都市 2020 北九州開催記念「小倉城地酒まつり」

- ・開催時期：2020年3月27日（金）～29日（日）
- ・会場：小倉城下 大手門前広場・しろテラス横
- ・概要：北九州のシンボル小倉城の城下にて、日本・中国・韓国の地酒やグルメの販売に加え、PRブースを開設し、家族や仲間と楽しめるイベントを開催します。

▶文学館展示リニューアルオープン

- ・開催時期：2020年3月20日（金）
- ・会場：北九州市立文学館
- ・概要：北九州ゆかりの著名な文学者の紹介や、ジャンル別の歴史のほか、平成以降に活躍する作家も取り上げ、常設展示が大きく変わります。また、世界中で翻訳される作品の紹介や、多言語表記も加わります。企画展示室では「(仮称)北九州ゆかりの文学者たちの収蔵品展」を同時開催します。

開幕式典

開催時期:2020年3月28日(土)15:00~18:00

会場:北九州芸術劇場 大ホール

テーマ:「未来」と「対話」- Future & Dialog -

コンセプト:人々は「時代」と共に歩み続け、その「記憶」と共に人生を育んできた。過去を俯瞰し、検証し、現代を生きることにより、人々の共有財産は「未来」へ受け継がれる。それは、ささやかな「対話」の積み重ねからしか始まらない。

《プログラム》

●オープニング公演「書道パフォーマンス」

出演:福岡県立八幡中央高等学校 芸術コース 書道部

演出:泊篤志

●主催者・各開催都市挨拶、開幕宣言

文化庁、東アジア文化都市2020北九州実行委員会、北九州市、揚州市、順천시

●文化交流公演

東アジア文化都市の開催都市(日中韓)が、それぞれの国を代表する演目を披露。

【日本・北九州市】

タイトル:「門司春秋」(もじしゅんじゅう)

作・演出・振付:藤間蘭黄

作曲:四代目杵屋小三郎(坂口あまね)

(長唄囃子青年楽団清響会・東京藝術大学音楽学部邦楽科3年)

出演:藤間蘭黄(日本舞踊家)、山村友五郎(上方舞・日本舞踊家)

長唄囃子青年楽団清響会

舞台美術素材監修:築城則子(遊生染織工房主宰)

「春秋」とは年月、歳月のこと。関門海峡周辺の地域資源及び門司港地区を題材に、作詞・作曲されたオリジナル楽曲(唄、三味線、囃子)で踊られる日本舞踊。舞台美術に小倉織を使用。

【中国・揚州市、韓国・順천시】

各都市から派遣される文化使節団による文化交流公演

●フィナーレ公演

・小倉祇園太鼓:小倉祇園太鼓保存振興会

・開幕記念演奏 ベートーヴェン「交響曲第6番『田園』より第一楽章」

:認定NPO法人 響ホール室内合奏団

・詩の朗読:福岡県立八幡高等学校 放送部

・合唱(パプリカ、Believe):市内の少年少女合唱団

夏のコア期間事業 オリパラ・ウェルカムプログラム

伝統芸能

トップクラスのアーティストによる日中韓の伝統楽器の演奏や長唄・日本舞踊の上演など、伝統芸能を楽しめるステージを開催するとともに、海外からの訪問客を日本文化でお迎えする体験型プログラム等を実施します。

▶伝統芸能饗宴(仮称)

- ・開催時期：2020年8月1日(土) 午後
- ・会場：北九州芸術劇場 大ホール
- ・監修：藤間蘭黄(日本舞踊)、八代目杵屋勝三郎(長唄・囃子)
 - I：プロローグ饗宴①～日中韓の伝統楽器(日本・箏、中国・古箏、韓国・カヤグム)による新曲の演奏～
作曲：佐野秀典 演奏：宮本直美ほか
 - II：プロ及び市民参加者等による長唄三味線演奏
演目①「元禄花見踊」 演奏：市民参加者 他
演目②「船弁慶」
演奏：【唄】杵屋東成・杵屋利光 他、【三味線】杵屋勝禄・杵屋禄宣・杵屋小三郎 他、【囃子】堅田新十郎社中
 - III：市民参加者等による新曲の創作日本舞踊
題材：鳥獣戯画(新作)
作詞：藤間蘭黄 作曲：四代目杵屋小三郎
出演：市民参加者 他
演奏：演目II②の演奏者
 - IV：エピローグ饗宴②～フィナーレ～

▶小倉城 薪能 2020(仮称)

- ・開催時期：2020年夏(予定)
- ・会場：小倉城天守閣前広場(予定)
- ・開催内容：小倉城を背景に舞台周辺にかがり火を焚き、幻想的な雰囲気の中で日本古来の伝統芸能である能を披露します。

▶日本文化体験ウェルカムプログラム

- ・開催時期：2020年7月～8月
- ・会場：小倉城、小倉城庭園 等
- ・開催内容：海外からの訪日客を対象に、日本の文化を体験できるプログラム（茶道や華道、浴衣等の着付け体験など）を実施します。

▶東アジア文化都市 2020 北九州開催記念「第75期本因坊戦 第4局」

- ・開催時期：2020年6月13日（土）～14日（日）
- ・会場：小倉城庭園
- ・開催内容：囲碁界最高峰のタイトル戦である「本因坊戦」を7年ぶりに本市で開催します。

秋のコア期間事業 東アジアアートプログラム

ART for SDGs

SDGsモデル都市として、本市の歩みの中でシンボリックなエリアである八幡・東田地区を中心に、SDGsをテーマにしたアートフェスティバルを開催します。

▶ART for SDGs 2020 北九州（仮称）

- ・開催時期：2020年秋（予定）
- ・会場：東田大通り公園、北九州市立美術館本館、北九州市立自然史・歴史博物館、北九州イノベーションギャラリー、環境ミュージアム 等
- ・開催内容：SDGs（=SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS）とは、国連サミットで採択された世界の開発目標です。北九州市は、OECDからアジア地域で初めて「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定されるとともに、国から「SDGs未来都市」に選定されるなど、まちづくりの取組が国内外で高く評価されています。このイベントでは、アート作品により「SDGsの17の目標」を可視化し、市民や来場者とともにSDGsの理解を深め、未来のビジョンを創造します。

メディア芸術

本市は「北九州市漫画ミュージアム」や「北九州ポップカルチャーフェスティバル」等を中心に、漫画・アニメの魅力を幅広い世代に発信しています。

また、「映画の街」として、先駆的に取り組んできた北九州フィルム・コミッションの実績もあります。本市の強みを活かしながら、様々なイベントを開催します。

▶北九州ポップカルチャーフェスティバル 2020

- ・開催時期：2020年11月下旬（予定）
- ・会場：西日本総合展示場 等
- ・開催内容：若者層に人気の高い漫画やアニメなど「ポップカルチャー」をテーマとした九州最大級のイベント。人気声優やクリエイターのトークショー、アニソンライブ、ブース展示等、多彩なコンテンツでイベントを盛り上げます。

▶GIGA・MANGA -江戸戯画から近代漫画へ-

- ・開催時期：2020年9月19日（土）～11月8日（日）
- ・会場：北九州市立美術館本館
- ・開催内容：江戸から昭和初期（戦前）までの、浮世絵、明治以降の社会風刺画、漫画雑誌などさまざまな出版物に表された漫画的表現を検証します。

▶3館連携事業「SF都市・北九州」未来を描くチカラ（仮称）

- ・開催時期：2020年10月3日（土）～11月29日（日）
- ・会場：北九州市漫画ミュージアム
- ・開催内容：日本の漫画・アニメ・特撮の全体像と特徴を日本の戦後史との関係性の中で析出。また、将来に希望を抱きにくい現在、日本の漫画・アニメおよび特撮が得意とするSF的手法やモチーフによって“未来”を描くチカラが日本の漫画・アニメ・特撮にあるか否かを問いかけます。（美術館分館及び文学館との3館連携事業として実施）

▶北九州フィルム・コミッション 国際映画祭（仮称）

- ・開催時期：2020年冬
- ・会場：市内映画館 等
- ・開催内容：北九州フィルム・コミッションの実績を市民の皆様と分かち合い、世界に向けても映画の街を発信する映画祭を開催します。映画ファンだけでなく、市民の皆様が共に楽しんでいただける映画の祭典を目指します。

文学

本市が持つ豊かな文芸土壌を活かして、文学による東アジアとの交流を図るとともに、他の芸術分野と連携した事業を展開します。

▶東アジア文学会議(仮称)

- ・開催時期：2020年10月31日(土)、11月1日(日)
- ・会場：北九州国際会議場
- ・開催内容：日中韓の文学者が集うシンポジウムや講演、朗読劇等を開催するとともに、文学を通じた国際交流を図ります。
- ・テーマ：地球を聴く～持続可能性と文学ができること～

▶アートシネマ(仮称)

- ・開催時期：2020年秋
- ・会場：小倉昭和館、長崎街道木屋瀬宿記念館
- ・開催内容：本市ゆかりの作家の小説を原作とする映画の上映会を開催します。読んでから観るか、観てから読むか、市民の皆様が文学や映画を楽しみ、本市ゆかりの作家を身近に感じていただく機会を創出します。

▶書と文芸(仮称)

- ・開催時期：2020年8月24日(月)～9月13日(日)
- ・会場：北九州市立美術館分館
- ・開催内容：東アジアに共通する「漢字」をテーマに、日中韓の書家等による展覧会を開催します。

▶詩と現代舞踊(仮称)

- ・開催時期：2020年11月7日(土)、8日(日)
- ・会場：北九州芸術劇場 中劇場(舞台上舞台)・小劇場
- ・開催内容：日本、中国、韓国の詩作品をモチーフに現代舞踊を創作し、上演します。詩作品と現代舞踊を通して、国を越えた多様な文化芸術の相互理解を図るとともに、本市の文芸・舞台芸術を内外に発信します。

▶街なかリーディング(仮称)

- ・開催時期：2020年秋
- ・会場：街なかの喫茶店 等
- ・開催内容：北九州地域で活動する劇団等が街なかの様々な施設で本市ゆかりの作家の作品を朗読します。